



いいたて希望の里学園  
代表児童が贈呈を受けました。「ディズニーは人気がありとてもうれしい。さまざまな応援に感謝しています」。

## 相双法人会飯館支部から 素敵な文具のプレゼント

1月12日、相双法人会飯館支部から、いいたて希望の里学園とまていの里のこども園の子ども達にディズニー文具のプレゼントがありました。長谷川長喜支部長、菅野一廣副支部長が同校・同園を訪れ、子ども達と笑顔を交わしながら、「楽しく勉強してくださいね」と文具を贈呈しました。



まていの里のこども園

お礼の歌を歌いました。

## 飯館村農業委員会から 意見書の提出を受けました

12月20日、飯館村農業委員会(菅野啓一会長)から村へ、来年度の農業施策に関する意見書が提出されました。意見書は、同日の定例総会で決議されたもので、営農再開の状況や燃料・資材の価格高騰などを踏まえて、「営農再開に向けた事業施策の促進について」「担い手の確保、育成について」「農地の集積・集約に向けた支援について」「農業・農村の持続的発展について」の4項目にまとめられています。村は意見の内容を施策の検討に生かすと共に、国・県に対して働きかけを行っていきます。



菅野会長(前列右から3人目)から提出された意見書を手にする杉岡村長(前列中央)と農業委員の皆さん。



贈呈式にて、清水所長(左端)と山崎建設株式会社・渡部匡所長からスピーカーを受け取る代表園児。

## 復興事業に従事する皆さんから こども園へスピーカーの寄贈

1月12日、令和5年度飯館村特定復興再生拠点区域除染等工事作業所の職長会から、まていの里のこども園へ、Bluetoothスピーカーを寄贈していただきました。贈呈式では、大成建設株式会社の清水義男所長が「何か皆さんのお役に立てることはないかと考えました。楽しく使ってください」と子ども達にメッセージを伝え、園児は早速スピーカーから流れる曲に合わせてダンスを披露し感謝を伝えました。贈っていただいた5台のスピーカーは、日頃の保育や行事で幅広く活用されます。

## 飯館村地域おこし協力隊 松尾洋輝さんが卒業

飯館村地域おこし協力隊として活躍してきた松尾洋輝さんが、3年間の任期を満了し、協力隊を卒業しました。卒業式は、12月20日に村役場で行われ、杉岡村長から卒業証書を受け取った松尾さんは、「皆さんの支えのおかげで頑張ることができた」と感謝を述べました。松尾さんは、情報発信やコーヒー販売を行うかわら、さまざまなイベントに参加したり、洋菓子ブランドの立ち上げに関わったりと多才ぶりを発揮し活動の幅を広げてきました。卒業後も村で暮らし、新たな挑戦を続けます。



卒業式には、協力隊の仲間や職員らが駆けつけ、3年間の活動を労いました。前列中央が松尾さん。



ウクレレや打楽器が奏でるサウンドと美しい歌声に彩られ、絵本の世界が豊かに広がりました。

## 音楽で広がる絵本の世界 「絵本ライブ」を開催

1月21日に交流センター「ふれ愛館」で開催された『絵本ライブ』。子どもから大人まで、絵本が好きな皆さんが集まり、絵本ライブユニット「にじのかなた」による読み聞かせや歌遊びを楽しみました。音楽が彩る物語の世界に入り込んだり、歌や演奏、掛け声やダンスで共演したり、会場が一つになってさまざまな絵本の世界を満喫しました。



## 飯館村消防団 令和6年出初式を行いました

1月7日、いいたて希望の里学園の体育館で、令和6年飯館村消防出初式が行われ、飯館村消防団、役場消防隊の他、関係機関など合わせて115人が参加しました。式では、杉岡村長が、能登半島地震に触れてお見舞いを述べると共に、「災害時に先頭に立つ皆様には、大震災の経験と学びを生かし、自然の猛威に備えていただきたい。また、磨き上げてきた消防精神に基づき、職務に精励してください」と、一同を激励しました。また、式の後には、優良団員や永年勤続の表彰も行われました。



学園の体育館で行われた出初式。消防団員が隊列を組む、杉岡村長、赤石澤傳団長(飯樋町)らが観閲。